

平成26年度 鞠智城跡「特別研究」採用者一覧(五十音順)

	採用者	所属	研究分野	研究テーマ	研究概要
1	イガラシ モトヨシ 五十嵐 基善	明治大学大学院 博士後期課程	文献史学	西海道の軍事環境からみた鞠智城の機能	・鞠智城の立地・機能を対外防衛との関係で分析を行う。 ・鞠智城における軍事支援の機能を対隼人・対蝦夷との比較から検討を行う。
2	キヨタ ミキ 清田 美季	京都大学大学院 博士後期課程	文献史学	8世紀における古代山城の展開と官衙・寺院	・鞠智城の長期にわたる存続理由を官衙・寺院との検討を通じて解明する。 ・他の古代山城及び東北の古代城柵と官衙・寺院の関係についても比較検討を行う。
3	コンドウ コウイチ 近藤 浩一	京都産業大学等 非常勤講師	朝鮮史学	出土文字資料よりみた古代朝鮮の行政・仏教文化・技術と鞠智城 －鞠智城の源流を探る－	・古代朝鮮の出土文字資料の分析から百済・新羅地域の行政システム等を分析する。 ・百済・新羅の仏教文化、技術、生産流通の分析から、鞠智城の築城背景・性格の解明を行う。
4	ニシモト テツヤ 西本 哲也	東京大学大学院 博士後期課程	文献史学	鞠智城地域と大宰府 －古代の地方行政と西海道－	・鞠智城地域の地方行政の特質を検討し、西海道の地方行政のあり方を分析する。 ・文献と出土文字史料の検討から、西海道の地方行政制度の実態を解明する。
5	ミナミ ケンタロウ 南 健太郎	岡山大学埋蔵文化 財調査研究センター 助教	考古学	石積技術からみた古代山城築造集団の研究	・古代山城の石垣や水門の3次元計測を行い、それらの構造を分析する。 ・鞠智城、鬼ノ城、朝鮮半島の古代山城の石積技術を比較検討し、その系譜や動態を解明する。